

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年7月24日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670400219
法人名	医療法人 二三和会
事業所名	グループホーム わかば
所在地	鹿児島県枕崎市若葉町85番地 (電話) 0993-73-5101
自己評価作成日	平成27年5月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年7月7日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・入居者一人一人の要望や思いがあった場合は、すぐに職員全員で解決していき、一人一人が生き生きと生活出来る様に日々職員全員で取り組んでいる。
- ・自由に外出していただき、さりげなく付き添いながら見守りを行っている。
- ・職員個人、職員全体で年間目標を掲げ、日々のケア向上に努めている。
- ・家族の思いや希望、要望などを気軽に相談できる環境作りに努め、面会等訪問しやすいグループホーム作りを目指している。
- ・法人内で研修会や行事等を通し、情報共有しながら連携を図っている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームはシルバーハウスとデイサービスが併設されており、合同での避難訓練や催し物など、日頃から連携が取れている。
- ・近隣の保育園との定期的交流や合同避難訓練の実施、地域行事への参加、ボランティアによるお話の会が毎月開催されるなど地域との交流が盛んである。
- ・理念に沿った年間目標と職員個々の年間目標を掲げ、日々のケアを実践している。
- ・毎月の「わかばだより」は遠方に住む、家族や兄弟にも送付している。
- ・職員は全員が常勤で管理者と職員とのコミュニケーションも良く働きやすい環境となっている。
- ・運営推進会議に他グループホームの管理者に参加してもらい、他グループホームとの利用者や職員との交流を行い、サービスの質向上に積極的に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>・管理者と職員はケアの根幹として理念を共有、日々のケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員全員で作った地域密着型の理念を、室内の目につきやすい場所に掲示し、ネームプレートにも掲載している。毎日のミーティングや申し送り時・ケア時に確認し、振り返りを行っている。全体研修の時、理念に沿った年間目標や個人目標を掲げ日々のケアに反映させている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している</p>	<p>・職員は年に2回の奉仕作業美化活動に参加、地域行事、保育園児、他グループホームとの交流をしている。</p>	<p>町内会に加入し地域の行事や祭り・奉仕作業等に参加している。保育園児との交流やボランティアの紙芝居等の訪問がある。日常的には散歩や買い物・コインランドリーでの住民との会話・公園で昼食を食べていると住民の方が写真を撮ってくださる等、交流している。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>・地域の総会、役員会に管理者が出席し、地域の方に理解と支援の方法を報告している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、民生委員、家族代表、地域代表、他グループホーム管理者が2か月に1回出席して頂き、現状報告、意見交換や質問要望を聞き検討しながらサービス向上に努めている。</li> </ul>	<p>会議は定期的に行っている。他のグループホーム管理者や警察官・消防署職員等、幅広い参加がある。実習生の受け入れや利用者の状況・行事等の報告・外部評価報告を行い、意見交換等が行われ、意見をサービス向上に反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市への提出書類時、2か月に1回運営推進会議を開き実情やケアサービスの取り組みを伝え情報交換の機会を持っている。</li> </ul>	<p>毎月、市の担当者には、提出書類を持参し、ホーム入居待機者の報告やわかば新聞を届けたり、運営推進会議やケアサービスの取り組み状況等を報告し相談や助言を得ている。市主催の研修会に参加し情報交換や協力関係ができるよう取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出の察知、外出の傾向の把握、又地域近所の理解協力の促進等無理に引き止めずさりげなく見守っている。</li> </ul>	<p>指針やマニュアルを活用して研修会や勉強会を定期的に行い、日頃から身体拘束ゼロを実践している。日常生活の中での意見交換も行っている。日中、玄関の施錠はせずに、外出する気配があった時は、さりげなく見守り言葉かけをして対応している。近所の協力もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>・日常的に虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>・研修の記録報告によって、ミーティングで職員間の共有を図っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・入所決定時に家族に十分説明を行い、理解していただくように努めている。</p> <p>・改定時も同意書を作成し説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・面会時や電話で家族の意見や要望を聞いたり入居者の意見をミーティングや運営推進会議等で話題にあげて、反映できるようにしている。</p>	<p>利用者からは日頃から思いを聞いている。家族からは家族会や職員との新年会・交流会・イベント時・面会時・電話連絡時に意見や要望を聞くよう心がけている。出された意見は、申し送りノートや壁に貼ったりしてミーティングや運営推進会議で話し合い、わかば新聞等で掲載し運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のミーティングに理事長、理事も出席し意見交換を行っている。</li> <li>・必要に応じ、管理者がその度相談も行っている。</li> </ul>	<p>管理者は職員とのコミュニケーションを大切にしており、意見や要望が出しやすい環境となっている。無記名のアンケートボックスの活用や毎月のミーティングに理事長も出席し意見や提案を直接聞く機会があり、反映につながっている。フロアにベッドを置くことや残業手当等、意見が反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者が職員個々の悩みや相談を聞き、理事長や理事に報告相談している。</li> <li>・毎月のミーティングの際にも自由に意見を言える環境に努めている。</li> </ul>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のミーティング時や法人全体の勉強会を通して質の向上を図っている。</li> </ul>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のグループホームとの交流会や小規模多機能等を含めた家族会に参加し、学ぶ機会を得てサービスの質を向上させるように努めている。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・本人の要望や不安に思っている事を傾聴し、家族にも情報を得て安心して頂くように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>・家族皆の気持ちに寄り添いながら困っている事や要望を聞き共有していける様に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・本人家族より情報を聞き、見極めて対応する様に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・声掛けや見守りをその時の状況に応じて、一緒に掃除や洗濯物たたみしながら支えあう関係作りを築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>・家族に現状報告を行い家族と本人の意向を尊重し、気軽に訪問して頂くように信頼される関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>・手紙を出されたり、ドライブ等で、入居者自宅や行きたい場所の希望が叶う様に支援している。</p>	<p>利用者の自宅や行きたい所など、希望にそってドライブで時間を作って外出を支援している。馴染みの知人の面会も多い。美容室や墓参り・外食・年賀状など手紙の支援も行っており、馴染みの関係継続の支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>・トラブルも有りますが、席の配置に気配りし、楽しく会話ができる様に支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>・年賀状等で関係を大切にしながら情報交換して経過をフォローしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家族、本人の会話の中から希望や意向に努めている。	日常の会話や表情から思いや希望を把握している。利用者担当の職員が細かに把握し支援している。家族の面会時にも思いや意向を把握している。困難な場合、家族からは入居時のアセスメントや面会時に思いや意向の把握に努め、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族、本人からの情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の流れを職員全員が把握変化があったときは申し送りを確実にする様に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族、本人、主治医、作業療法士、職員全員の意見を取り入れ計画作成している。	課題とケアについて本人や家族・主治医が参加して、担当者会議を開き意見交換をして介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎、個人記録や申し送りノートからミーティングで情報を共有し定期的に見直しを行い、必要時には随時見直しを行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>申し送りノート、ミーティング等活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の状況に応じて出来ない事は職員が支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>保育園やお話の会等のボランティア活動を活用している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医と連絡を取り適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医の受診となっている。専門医受診は基本的に家族対応で行っているが、必要時には職員での対応もしている。協力医の定期健診は1ヶ月に1回、看護師が適切な医療を受けられるように医師と連携を取り支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、口吊の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・看護職員がいる時は、看護職員に報告したり、必要に応じ主治医に電話で相談し受診等へ繋げている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・入院時には情報提供書を作成し、病院の相談員と連絡を密にし状況把握に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・入居時に重度、終末期について考えを確認している。</p> <p>・重度化した時に再度家族の意向の確認を行うようにしている。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に向けた指針を、本人や家族と話し合い同意を得ている。マニュアルもある。外部研修や法人の内部研修に参加し、ホームでも研修会や勉強会を定期的で開催し、職員の理解と意識の統一を図っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・入居者の急変や事故発生時の連絡体制を整えミーティングでも対応の仕方を確認している。</p> <p>・AEDの使用方法を年1回勉強している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・年3回消防訓練を実施し、保育園側とも避難訓練の連携を行っている。又自衛消防組織図を作成し災害時に誰がどうするかを職員全員が周知し徹底している。</p>	<p>年2回昼夜間想定した消防訓練を実施し、更に年1回は保育園と合同で園児の家族も参加して行っている。避難場所や非常災害時の誘導體制も整備され、通報装置、スプリンクラーが設置されている。AEDの使い方についても研修を行い、救急救命法の訓練など研修している。地域との協力体制も築いている。非常用の食糧の備蓄も完備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・個人情報の取り扱いには職員採用時誓約書を交わし、記録物など職員以外触れないよう大切に保管している。又入居者の声掛けには親しみ思いやりをもち声掛け対応をしている。	入居時に人格の尊重とプライバシーについて契約書に提示し、マニュアルもある。プライバシーを損ねないように、入浴時やトイレ誘導時はケアの声かけに細心の気配りをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・入居者の好きなことを見つけたり入居者の状態を把握し外出される時は見守りを行い自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・個別に声掛けし、体調や本人の希望にそって1人1人のペースで過ごしてもらるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	・各行事イベントに家族が準備して下さったおしゃれ着を着たり、入浴後に希望された場合はお化粧品などの支援もしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・入居者一人一人にあった食事を美味しく頂けるように盛り付けなども工夫し、入居者と一緒に野菜の皮むき、お膳拭き、配膳、下膳、皿洗いなどもしている。</p>	<p>一人ひとりの好みや力を活かし、お膳拭きや配膳・下膳・皿洗い等、できる部分を一緒にしている。誕生日には希望のメニューや手作りのケーキを準備し個別にお祝いをしている。行事食の手作り弁当やおせち料理・七草粥・公園での野外食・嗜好も配慮している。ミキサー食やとろみ味、血圧にも配慮して食事を楽しめるよう工夫している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・同法人内の管理栄養士にアドバイスを頂き献立を作っている。又食事量や水分量は毎日記録している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>・毎食後、洗面所まで誘導し介助を要する場合には声掛けしながら介助を行い、夜間時毎日洗浄剤使用、清潔保持に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の訴えや行動をみながら誘導したり、又トイレ誘導時間を決め、日々排泄チェック表に記入し排泄がない場合は時間をおきながら再度声掛け誘導して自立に向け支援している。</li> </ul>	<p>基本的にはトイレでの排泄を支援している。排泄チェック表で時間誘導している。排便コントロールも腹部マッサージや牛乳・ヨーグルト・バナナ・ひじき等、食材に配慮している。ドクターに相談しながら自立に向けた支援をしている。布パンツに前進した利用者もいる。</p>	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ水分が多くとれる様に飲み物の工夫をしたり、定時に排便をするよう援助している。</li> <li>・腹部マッサージや運動も行っている。</li> </ul>	/	/
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の気分や体調、タイミングを見ながら声掛け等を行い個々に応じた支援をしている。</li> </ul>	<p>入浴は基本的に週3回、その日の体調や気分に合わせて午前・午後実施し、好みの入浴剤を使用している。入浴を拒む利用者には散歩の後や時間差で声かけしたり、翌日へ延期する等、無理強いせず清潔を保ち、個々に合わせた対応をしている。足浴は随時行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	・昼間はレクリエーション活動 やドライブ、散歩を行い、午睡も 無理なく個々に応じた支援をし ている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	・職員が服薬管理を行い、表情 や症状観察を常に行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活暦や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている	・洗濯物たたみ、散歩、ドライ ブ、お誕生日会、イベントや保 育園児やボランティアの方々と の交流会を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	・家族の協力のもと墓参り、外 食、帰宅等や年間計画を立て 支援している。	天気の良い日は近隣の散歩を 行っている。行事の年間計画を たてて、月に1回はイベントを 実施して外出している。地域行 事や保育園行事参加・ドライ ブで買い物・コインランドリー へ出かけている。家族の協力を 得ながら墓参りや外食・一時帰 宅を行っている。遠方までの花 見やそうめん流し・きばらん海 まつり等、地域のボランティア の協力もあり、車椅子の利用者 も出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・お金の所持困難の為、個々別で家族より預かり希望時に使えるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>・一人での利用が困難な入居者に対し個人別に利用出来るように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・玄関には花や貝殻など飾り、季節感を取り入れる工夫をしている。</p>	<p>共用空間は天窓からの採光で明るい。廊下も広く室温や湿度が調整され、掃除も行き届いている。壁には手づくりの大きな暦や作品が飾られている。対面キッチンで、フロアが見渡せ利用者といつでも会話ができるよう配慮されている。車椅子用トイレが多数あり、安心して居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・入居者都合による場所移動や希望を取り入れ工夫をしている。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・本人や家族から聞き馴染みのある物を自由に持ち込んで頂き居心地良く生活できる様支援している。又居室の清掃を毎日実施し清潔を維持している。</p>	<p>居室にはエアコンやタンス・ベットが備え付けられており、個々に使い慣れた小物や手芸品・暦・家族写真・家具などが持ち込まれている。大きな高窓があり明るく清潔感があり、居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・建物内部はバリアフリーになっており歩行時の為の手すりを設備、テーブル椅子などは丸みをもたせることにより、自立支援及び安全な生活が行える様工夫している。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない